

## 成果の説明書

(氏名) 向井悠一朗	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>&lt;研究&gt;</p> <p>Mukai, Y. and Y. W. Park (2019) “Building New Factories for Higher Resilience: The Case of EPSON ATMIX,” 東京大学 MMRC ディスカッションペーパー, No.512.</p> <p>&lt;教育&gt;</p> <p>講義については、日常生活に関わる課題を加えるなど、受講者が取り組みやすくなるようにレジュメやリアクション・ペーパーの内容を見直した。</p> <p>ゼミについては、座学では業界地図などを活用してグループワークによる事例研究を中心に取り組んだ。座学以外では、県内外の製造企業への訪問、海外研修（ハノイ）などの課外活動に取り組んだ。また、後期のゼミ活動には留学生も参加した。</p>	
2 その他の事項	
<ul style="list-style-type: none"><li>• 出前授業（2019年10月10日 茨城県立緑岡高等学校）</li><li>• 学内紀要の査読</li><li>• 学内の各委員</li></ul> など	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>研究に関して、次年度は論文執筆を中心に取り組み、製品アーキテクチャ論による造船業の事例分析の学術的な業績を出す。</p> <p>教育に関して、講義は、受講者の学習を促すために、身近な内容を加えるような内容の見直し、オンライン化に対応した講義内容・構成にする。また、オンライン化を活かして、これまで希望者のみであったフィードバックを受講者全員に行う。ゼミについては、引き続き、学生による能動的な活動を重視する。同時に、オンラインでのゼミ活動の可能性を模索する。</p>	